

町民の皆様、明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで良い正月をお迎えのことと存じます。

日頃は、議会活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

新生鬼北町「森がすくすく、川がいきいき、人が元気」な町を目指し、先人たちの遺された歴史・伝統・文化を守り、一歩着実に歩み、13年目を迎えることができました。

昨年は、待望の庁舎再生の記念すべき年となり、町民挙げて喜びを分かち合いました。再生

庁舎は町内外からの評価も高く、私も、大変嬉しく思うその一人です。この再生庁舎に、町民の思いが届く場所となるよう、切に願うものです。

ここ数年、国の経済は安定せず、地方公共団体の財政は、一段と厳しい状況であります。国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、各自治体に於いても、地方版総合戦略を策定し、少子高齢化対策や、交流人口の拡大と、地方に合った施策を進めています。

鬼北町に於いては、独自性、主体性を活かした新しい町づくりに取り組んでいます。「鬼の

町鬼北町」をアピールするため、

一昨年は、道の駅森の三角ぼうしに巨大鬼のモニュメント「鬼王丸」を建立し、町内外から多くの来場者が訪れるなど、着実

にその効果が現れています。また、昨年は、道の駅日吉夢産地に「柚鬼媛」が誕生し、森の三

角ぼうしから日吉夢産地を通ずる国道320号線を「鬼街道」と名付け、交流人口の拡大に務めています。昨年開かれた「えひめいやしの南予博2016」を通して、幅広くPRが出来たと思っています。

しかし、鬼北町では、以前に増して少子高齢化が進み、福祉医療の充実、農林業の活性化、農業後継者不足、これから増える空き家対策と、多くの課題があります。その中で、鬼北町に合った施策を一つ一つ具現化し、「自然豊かな、心豊かな、暮らしみんな町、鬼北」の発展に繋げることが不可欠であり、町関係者、議会、町民が一丸となつて取り組まなければなりません。

たちは議会人として、町政改革

重要課題に対し、役割の重大さを深く認識し、議会の使命を議員の職責として、町民の皆様の

ご期待に応えられるよう、全力で取り組む決意でありますので、ご支援賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

今年が、町民の皆様にとりまして、幸せな一年でありますよう、心から祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

鬼北町議會議長 松田八重子

年頭の

平成29年を迎え、

せん。

私も議長として、地方議会の有り様が問われる中、議会改革に務めきました。議員定数の削減や、研修による議員の資質向上にも取り組んでいます。私